



第156号
2020.3月号

医療法人 済衆館 済衆館病院
〒481-0004 北名古屋市長久寺前111番地
TEL.0568-21-0811(代表)
FAX.0568-22-7494
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp
https://saishukan.com

マンスリー 済衆館だより

裏面: たかが便秘、されど便秘 その2

外来診療担当医表(3月)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	横崎 消化器	渡辺 消化器	森 糖尿病・膠原病	柴田 循環器	吉田(勝) 循環器	柳澤 呼吸器
		今村(亜) 第1・2・3・5 循環器	橋本 呼吸器	今村(亜) 循環器	渡辺 消化器	戸部 第1・4 循環器	多田 第1・2・3 腎臓・リウマチ・膠原病
		森 糖尿病・膠原病	榊原 循環器	吉田(勝) 循環器	伊藤(隆) 脳神経	伊藤(隆) 脳神経	
		岡城 循環器	鈴木(重雄) 消化器	横崎 消化器	末澤 消化器	森 糖尿病・膠原病	末澤 消化器
		平山 脳神経	伊藤(隆) 脳神経	栗木 消化器	岡城 循環器	橋本 呼吸器	担当医
			吉田(由) 糖尿病内分泌	多田 腎臓・リウマチ・膠原病		吉田(由) 糖尿病内分泌	
外科	午前	川崎	今村(康) 外科・総合診療科	勝野	今村(達)	今村(康) 第2・4 外科・総合診療科	川崎
			神谷	河合(純) 第2・3・4	川崎	井上	河合(純)
眼科	午前	半田	半田	半田	半田	半田	半田
	午後 受付時間	半田 13:30~15:30		担当医 13:30~15:30		半田 13:30~15:30	
小児科	午前	植	植	植	臼井	植	植
	午後	植 15:00~16:00	植 15:00~16:00			植 15:00~16:00	
皮膚科	午前				休診		
整形外科	午前	中里	鷹羽	相羽	松尾(英)	中里	松本 第2・3・4
		松尾(英)	河原	矢崎 第1・3 10:00~ 岩野 第2・4 10:00~	宇佐美 第1・2・3	栗本 9:30~	中川 第1・3 早川 第2・4
歯科・口腔外科	午前	梅村/担当医	梅村	梅村	梅村	梅村/担当医	

専門外来

	月	火	水	木	金	土	
内科	糖尿病内分泌 和田(第1・2・3・4) 9:00~12:00	循環器 水谷(浩) 13:00~15:00	糖尿病内分泌 上田 13:00~	禁煙外来 橋本 (第2・3・4) 14:00~			
	消化器・肝臓 栗木 13:30~15:30			消化器・肝臓 栗木 (第2・3・4) 14:30~15:30			
	IBD/便秘外来 渡辺 予約制 14:00~16:00	糖尿病 鈴木(貴) (第2・3・4・5) 13:30~15:30	呼吸器 柳澤 (第1・4) 予約制 14:30~15:30	腎臓・リウマチ・膠原病 多田 13:30~			
外科	乳腺外科 稲石 予約制 9:00~10:30	脳神経外科 飯塚 予約制	乳腺外科 佐藤 予約制 14:00~16:00	泌尿器 遠山 14:00~14:30	脳神経外科 飯塚 (第1・2) 14:00~16:00	形成外科 担当医 9:00~10:00	
	泌尿器 河合(昭) 13:00~16:00						
	内分泌外科 日比(八) (第1) 予約制 15:00~16:00	小児外科 勝野 13:00~16:00	泌尿器 担当医 一部予約制 14:00~	脳神経外科 担当医 14:00~16:00		脳神経・脊髄外科 西村 (第1・3) 9:00~11:30	
	内分泌外科 酒井(第3) 予約制 15:00~16:00	緩和ケア 秋山 13:30~16:00	脳神経・脊髄外科 担当医 14:00~16:00	血管外科 今枝 14:00~16:00	脳神経外科 担当医 (第4)		泌尿器 鈴木(晶) (第2・4) 9:00~12:00
	脳神経外科 吉田(純) 予約制 15:00~16:00						

- ★外来は、原則として予約とさせていただきます。
- ★受付時間 午前8:30~11:30
午後の専門外来は診察時間の30分前からとなります。
- ★診察時間 午前9:00~12:00
- ★都合により担当医師が変更となる場合があります。
- ★急患の場合はお電話ください。
時間外・休日も診察致します。

TEL.0568-21-0811(代表)

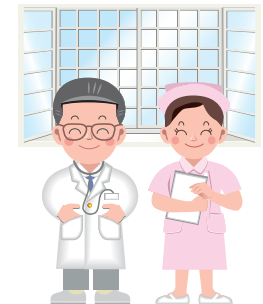
健診・ドックセンター

- 人間ドック ●企業健診

- 特定健診 ●特定保健指導

40歳から74歳の健康保険(国民健康保険、健康保険組合、全国健康保険協会、共済組合など)被扶養者(家族)の方も対象となっております。

健診・ドックセンター
TEL.0568-58-1535(直通)





たかが便秘、されど便秘 その2



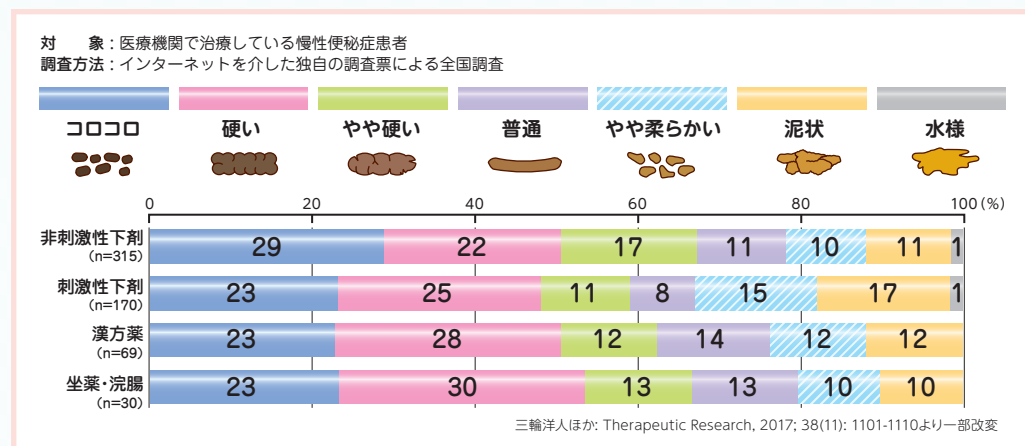
便秘に関する新しい知見や治療についてお話をさせていただきます。

便秘の治療はまず生活習慣の改善が必要で、食物繊維が多い食事を3食きっちり食べ、水分を十分に飲み、適度な運動を行い、朝に排便をする習慣を作ることから始まります。こういった生活習慣を改善しつつ、便が出にくい状況があれば内服を中心とした治療を行います。便秘薬は街のドラッグストアでも販売されています。市販の便秘薬は漢方成分で作られている薬剤も含めて、ほぼ刺激性下剤と非刺激性下剤の2種類に分類されます。いずれの薬剤でも用法・容量を厳守することが肝要です。刺激性下剤は大腸を刺激して、排便を促す効果が高いものの、長く使い続けると慣れが生じて薬の効き目が落ちてきます。どうしてもこの薬がないと便が出ないと思い込み、精神的に刺激性下剤に依存することも起こります。非刺激性下剤は、マグネシウムを含んでいることが多く、便の水分量を増やします。しかし過剰に内服すると、血液中のマグネシウム濃度が上がり、意識障害や不整脈などが起こります。刺激性・非刺激性下剤を定められた用法容量以上に内服しないと便がでない場合や、刺激性下剤を何か月も使い続けている場合は、一度、病院を受診し、医師と便秘薬について相談してみるのはいかがでしょうか。私の外来を「便が出なくなった」と受診した患者さまがいました。お話を聞くと、数年以上前から便秘で、市販の刺激性下剤を内服しているうち、徐々に内服量が増え、1日10錠以上も飲んで便が出なくなったと来院されました。長期に刺激性下剤を使用されていたため、大腸が便秘薬の強い刺激に慣れてしまったと考えられます。こうなると後で述べる便秘の新薬を使用しても、なかなか便が出せなくなってしまうことが少なくないので、早めに病院を受診されることをお勧めします。

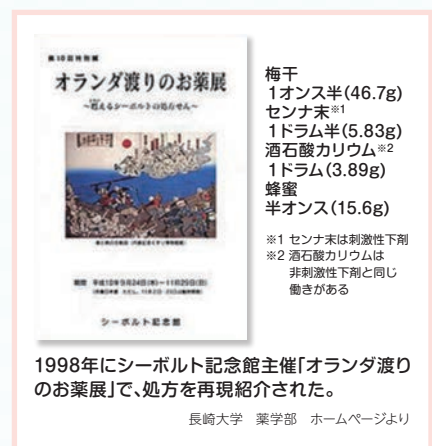
刺激性・非刺激性下剤を使用する便秘治療の歴史は古く、江戸時代末期のシーボルトも同様の治療を行っていたという記録が残っています(図)。

そこから百年以上、日本の便秘治療では漫然とこの2種類の便秘薬が使われてきました。確かにこれらの薬を使うことで、便は出るのですが、患者さまが満足できる排便ではないことが判ってきました。既存の便秘薬を使用している便秘患者さまのアンケート結果をお示します(グラフ)。

[グラフ] 現在服用中の薬剤別に見た便形状



[図] シーボルト処方の下剤



既存の便秘薬を使っても、普通の便が出る患者さまはたった10%程度で、硬い便・やや硬い便を合わせると40%、便秘薬が効きすぎ泥状便となってしまう割合も10%以上もありました。考えてみれば当然ですが、便秘患者さまには比較的便が出やすい軽症の方から、全然便が出ない重症の方までみえます。それをたった2種類の効き方をする薬剤で治療していたのですから、すべての患者さまが満足する治療ができなかったのは仕方ありません。かたや欧米では、過去には日本と同様な治療が行われていましたが、20年以上前から効き方が異なる新薬が登場し、便秘治療は一変しています。

日本でもやっとここ数年、新しい効き方をする便秘薬を使用できるようになってきました。

2012年アミティーザ®(小腸内の水分を増やす)、2017年リンゼス®(腸内の水分を増やす)、2018年グーフイス®(胆汁酸により大腸内の水分を増やし、大腸の運動を高める)、2019年モビコール®(便中水分量を増やし、便の量を増やす、子供の患者さまにも安全に使える)、ラグノス®(大腸内の水分を増やす)などが発売されました。

これらの新薬には効き方にそれぞれ特徴があり、患者さまの便秘の状況に合わせて薬を使い分けられることができるようになりました。またこれらの薬剤は比較的副作用が少なく、安全に長期に使用できると言われています。便秘でお困りの方は、「便秘IBD外来」(月曜午後)がありますので、ぜひ受診してみてください。

副院長 消化器内科 渡辺 修

➡ 次号は「認知症座談会」です

梅の花
うしろに匂ふ
夕月や

正岡子規作

- 3月1日(日)~3月8日(日) 女性の健康週間 ●3月1日(日) エイズ差別ゼロの日
- 3月3日(火) ひな祭り ●3月10日(火)~3月16日(月) 世界緑内障週間
- 3月12日(木) 世界腎臓病デー ●3月20日(金) 春分の日 ●3月24日(火) 世界結核デー

■ 第156号 2020.3月
■ 発行/済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館 済衆館病院
TEL.0568-21-0811(代表)

〒481-0004 北名古屋市長田西村前111番地
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp https://saishukan.com
FAX.0568-22-7494

当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。